

## ウォーキング

# 鹿化川さくら並木を散策

令和8年4月5日（日）

1. コース 近都湯の山線伊勢松本駅～鹿化川左岸～別山さくら公園～大門山公園～シデコブシ群生地～川島園住宅経由～中村邸～伊勢川島駅  
9.0 km (14,000 歩)
2. 参加者 伊橋健治・喜吉 雄・中村軍志・中村 衛・伊藤 茂・濱田 一  
6 名
3. ドキュメント

春の陽気は天気定まらず高気圧と低気圧が交互に流れてきて寒さと暖かさも日ごとに変わる。当初の計画は4日（土）に実施のつもりであったが雨と風が強くなるとの予報から急遽5日に変更して4月の例会を実行した。日曜日とあって既に予定を組まれているメンバーが多くこの日は6名の参加者になってしまった。

9時40分、伊勢松本駅前に集合する。挨拶とコースの説明の後、鹿化川を目指して早速歩き始める。松本街道を横切って少し行くと小高い所に松井神社が祀られている。道から参道を伺うと階段が続くので鳥居の前で頭を下げて通る。駅から15分ほど歩くと鹿化川（かばけがわと読む）に到達した。橋から見るに川面にせり出した桜は満開の感である。



松井神社参道入り口



鹿化川さくら

暖かな陽気の中、青天井とは言えない花曇りで天気に恵まれて足取りも軽く、左岸を上流に向かって歩く。行き交う花見客とあいさつを交わすのも気持ちが良いものである。この川島地区は以前、静かな田舎であったけれども小高い丘はほとんど住宅団地として開発されている。



さくら



さくら



どこまで歩いてても桜並木の連続である。川面には散り始めた花びらが浮かび、花筏を造り始めている。50年ぐらい前、河川改修が行われて丸裸になった姿を見て川島老人会の人たちが桜の木を順次1000本に及ぶほど植樹して丹精込めて育てたとのことである。「日本さくらの会」より表彰もされ今では「鹿化川の千本桜」と呼ばれている。



道端で記念撮影 左から濱田・中村軍・喜吉・伊橋・伊藤茂・中村衛の皆さん



田園の桜並木を歩く



さくら公園広場

延々と続く桜並木を歩いて1時間ほど、さくら公園広場に到達する。広場では桜祭りが開かれて川島地区の人たちが露店を出して様々なお菓子や弁当を販売していて足場がないほどの人たちで賑わっていた。我々はトイレ休憩を済ますとさらに上流を目指して歩く。11時20分ごろ、大門山公園の入り口に到達するも道が荒れていたようなので展望台への登頂をあきらめて一息入れる。大門山は狼煙場として大正時代に大阪の米相場を各地にのろしや旗振りで伝えていたと言われている。大門山公園をパスしてシデコブシの群生地に向かう。荒れた小径を歩いていくとシデコブシの花が確認できたけれども花期は過ぎていたし、残念ながら群生に出会うことはできなかった。



### 大門山を散策出来なかった悔しさからせめて案内板

桜並木を多能した後は川面を外れて川島園住宅団地の  
中を中村軍志さん宅に向かって進む。川島で特記  
しておくことがある、この地域は地下水が豊富で  
良質であったこと、日本酒に適していたこと  
から昭和初期には8軒もあった造り酒屋が  
今は丸彦酒造一軒になったとのことである。

中村邸に辿りついたのは12時過ぎであったろうか  
早速おもてなしを受けてビールの乾杯!!!

現役時のプラント事故の話、同僚の動向など懐かしい  
話で時間を忘れるほど話題が飛び交った。ビールの後は  
地元の銘酒・丸彦酒造の『三重の寒梅』のご馳走となる。飲みやすいお酒で忽ち一升瓶を  
平らげってしまった。そしてシシャモの焼き物などもご馳走になってしまった。軍さん本  
当にありがとうございました。

2時間ほどのお昼を楽しんで川島駅から電車に乗り込んで帰路に就く。



シデコブシ

